



頭部保護帽の開発に挑戦！



1. 転倒事故による死者数は年間約5千人！



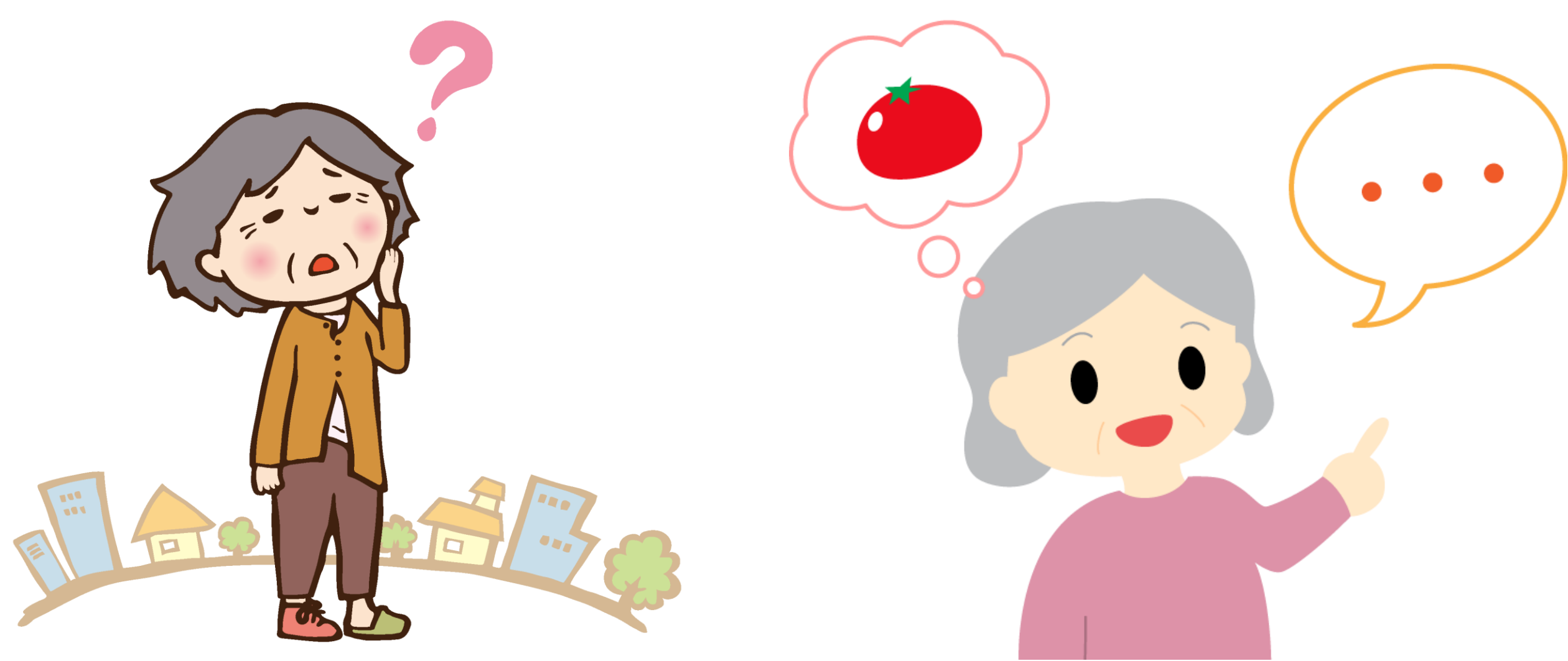
- ✓ 転倒事故による死者数は年間約5千人 (2010年当時)
- ✓ 重傷者数はその約10倍と推察*
(*交通事故では死者数に対して、約10倍の重傷者が発生していることから推察)

2. 転倒事故では『頭部傷害』の発生が多い！



- ✓ 転倒事故時に、『頭部』が傷害発生部位となるケースは約4割*
(* ウィンターライフ推進協議会調べ)

3. 後遺症のリスクあり！



- ✓ 特に、『脳』に損傷が生じた場合、後遺症*が生じて日常生活や就業が困難になるリスクあり
(*記憶障害、失語症、判断力低下など)

3. 頭部保護帽の開発に挑戦！

外観



着用イメージ



緩衝材



通気性と緩衝性能を兼ね備えた特殊なビーズ

- ✓ JARIの応用研究の一つとして、日常生活で気軽に着用できる頭部保護帽の開発に挑戦！

4. 人体ダミーを用いて性能を評価！

評価試験の様子



- ✓ 保護帽の保護性能を、人体ダミーを用いて確認。無帽の場合、殆どの方が重傷になる衝突条件下で、重傷リスクが約6割低減との結果を得る！

5. 製品化は『特殊衣料』と実施！ グッドデザイン賞の受賞やトレたま取材も！

製品版の例



特殊衣料
abonetのHP



- ✓ 製品化は『特殊衣料』と進め、現在、保護帽abonetシリーズの一つ (abonet+JARI) として販売中！
- ✓ 販売後はグッドデザイン賞の受賞や、『トレたまご』による取材なども！

